

etc



徳川家康は、 なぜ名古屋に城を 築かせたのか。

1603年、征夷代将軍となった徳川家康は江戸幕府を開闢。大坂の豊臣氏の勢力を掣肘したい家康は、東海道の要衝である尾張国に新しい城と城下町を築くことを命じました。織田信長が居城としていた清州から都市を丸ごと遷すという巨大事業で、これを「清州越し」と呼んでいます。

清州の地は水利に恵まれましたが、反面水攻めに弱く、防衛の拠点としては不安が残ります。その点、家康が名古屋城を築くために選んだ土地は高台にあり、さらに地盤も強固。幾度となく襲った災害にも、大きな被害を受けることはありませんでした。現在に続く江戸の発展は、西方に対する名古屋城の万全の守りがあってこそ実現できたといえます。

時は流れ2014年、名古屋城からほど近いエリアに、次世代のデータセンターが誕生しました。ロケーションは官公庁が建ち並ぶ名古屋市の中心部、丸の内。万全のセキュリティと最新のファシリティが、お客さまの大切な情報財産を守ります。徳川家康も認めたこの地で、24時間365日、企業の継続的な発展に貢献することをお約束いたします。

カーボンニュートラルへの取り組みを支援する都市型ハイスペックデータセンター。

耐災害性に優れ、高い信頼性を誇るファシリティの数々が、あらゆるリスクから大切な情報資産を守ります。また、お客さまのカーボンニュートラルへの取り組みを支援します。

環境に配慮した グリーンDC

高効率の空調システムを導入、カーボンニュートラルへの取り組みを支援

ハウジング

高集積サーバーに対応/大容量電源
お客さまのニーズに合致する多様なサービスをご提供

震度6強にも 耐える免震構造

免震装置が揺れを吸収
津波・洪水リスクなく地盤が強固な地域

安心の電源 供給体制

3回線特別高圧スポットネットワーク
受電、n+1構成の電源、高効率空調設備完備

ネットワークの 信頼性・優位性

自営光ファイバーでさまざまなネットワークをご提供
マルチキャリアにも対応

抜群の ロケーション

名古屋市の中心にあり、交通アクセスも良い(最寄り駅より徒歩2分)好立地環境

厳重な セキュリティ

生体認証・監視カメラ・共連れ防止セキュリティゲート・24時間365日の有人監視